



F - Release

エフ・リリース
NPO法人 ふじ環境倶楽部 情報誌
VOL.50 2008.11.11 発行

NPO法人 ふじ環境倶楽部は、市民・企業・行政のパートナーシップを基本としながら、

富士地域の自然及び社会的資源の掘り起こし、磨き上げ
地域資源を活用したまちづくり計画の策定、まちづくり活動の実践
市民団体相互のネットワークの構築 等を通じて、市民がこの地域で誇りを持って働き、暮らしていける「資源循環・環境共生型のまちづくり」を目指して、楽しく、ゆっくり、着実に歩んでいます。(平成12年11月9日 法人設立) 〒417-0815 富士市増川19-1

TEL.0545-38-0088 FAX.0545-39-0057

E-mail: info@ad-ism.com URL: http://www.fujikankyo-club.org

親子ワンデイ・トリップ・チャレンジャー 事前作戦会議

10/30 (木) 18:30~ 主催: 富士市都市計画課

参加者: 太田、浅井、渡井、杉山、加藤

(市役所消防防災庁舎5F 会議室)

ふじ環境倶楽部がファシリテータ協働 (当日は班の隊長役)

真剣にスタッフ事前打合せ 班毎に親子の参加者と作戦会議!



本番は、11月15日(土)です! 綿密な作戦通りヨロシク!

平成20年度富士市長表彰

10/31 (金) 午前10時 (ロゼシアター中ホール)

中山芳明先生が富士市表彰 (教育文化功労)を受賞いたしました。

ふじ環境倶楽部の皆さんへの先生からのコメントです。

「好きなことをやっていて表彰されるのですから、こんなうまい話はありませんね。もっとも考えてみれば昭和40年代に始まったゴルフ場をはじめとする大規模開発の波から自然保護のうねりが起こり、爾来、いろいろ富士市と関わってきました。私の道楽と時代の流れが合致したという幸運が一番大きな理由でしょう。私は運命論者ではありませんが、時代の流れで浮かび上がる人、反対に沈んでしまう人のあることは確かなようです。

私も明年には傘寿の舞台に入ります。もう体が云うことを聞いてくれませんが、動ける限りは自然との交わりを続けていきたいと思っています。今、何とかしなければと思っているのは、荒廃した人工林対策です。名案はないのでしょうか。また、指定管理者制度に移行した「富士山こどもの国」の絶滅危惧種の保護も困っています。営利目的と自然保護とは並立しにくく、元こどもの国建設課長の稲

葉さんたちが努力を続けて何とか維持されていますが、県の対応は鈍く、見通しは明るくありません。富士市の浮島が原自然公園はこどものくにの轍を踏まないようにしたいと思っています。地球温暖化問題は関心も深まったのですが、種の多様性条約は知らない人も多く、これも啓蒙しなければと思っています。

体力は衰えましたが、ハスはまだ達人なので、もう少しがんばりたいと思っています。 中山芳明



受賞者を代表して謝辞に立った中山先生は「ただ自分のやれることをやってきただけ。このような賞を受けて恐縮している」「これからも自分のやれることを自分なりに頑張っていく」と力強い口調で述べられました。 授賞、本当におめでとうございます!

「第4回全国紙バンド作品展」& 【紙バンド手芸教室】

11/1 (土)、11/7 (土) 主催: 植田産業

受付「紙・バンドえ〜ど隊」: 浅井、東方、小林、小池、渡井、加藤 (新富士駅ステーションプラザ)



今回の手芸体験教室は来年の干支の「丑(うし)」と「てまり」体験料: 600円。

初日の1日は朝早くから予想を上回るお客さんが殺到し大混雑! 15時頃には、約230人が体験し、早々と予定していた材料320セットを完売しました。

8日は雨が降っていたのと、問い合わせ時に午前中は混み合うとの情報を流していたので、午前と午後に平準化してお客さんが入り、大きな混乱はありませんでした。